



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	285,768	0.2	19,150	△8.0	23,465	0.8	14,278	△12.4
24年3月期第3四半期	285,125	1.8	20,822	△21.8	23,290	△16.3	16,306	△5.6

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 15,729百万円 (44.4%) 24年3月期第3四半期 10,893百万円 (△2.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	129.59	129.18
24年3月期第3四半期	147.66	147.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	418,948	294,395	68.7
24年3月期	414,717	286,657	67.6

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 287,789百万円 24年3月期 280,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00
25年3月期	—	40.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	35.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	5.1	27,000	3.0	30,000	6.8	19,000	2.5	172.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	117,463,685 株	24年3月期	117,463,685 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	7,271,580 株	24年3月期	7,291,193 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	110,188,478 株	24年3月期3Q	110,432,219 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想に関する定性的情報)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題の長期化に伴い欧州経済が低迷する中、中国をはじめとする新興国の成長率の鈍化が鮮明となる等、総じて不透明感の漂う状況で推移しました。

一方、日本経済においては、累計期間後半に政権交代による経済政策への期待感から株価の回復や為替の円高修正が進みました。しかしながら、海外経済の減速に伴う輸出の低迷や、累計期間後半まで続いた円高の影響により、依然として厳しい状況のもとに推移しました。

このような環境の中、当社グループは「人々を『食』の楽しみや喜びで満たすことで社会に貢献する」という理念の下、グループの強みである技術力を活かした商品開発を行うとともに、一層のブランド価値向上に努めました。また、成長性の高い新興国を中心にグローバル戦略を推進し、世界を舞台に戦える競争力とスピーディな戦略実行が可能な体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.2%増の2,857億68百万円となりました。利益面においては、営業利益は、前年同期比8.0%減の191億50百万円、経常利益は、前年同期比0.8%増の234億65百万円となりました。また、当四半期純利益は、前年同期比12.4%減の142億78百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期比	
	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	金額	%
売上高	285,125	285,768	+643	+0.2
営業利益	20,822	19,150	△1,672	△8.0
経常利益	23,290	23,465	+175	+0.8
四半期純利益	16,306	14,278	△2,027	△12.4

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

①日清食品

袋めん類では、カップめん で培った技術を袋めん に応用した「日清ラ王」や「日清のどん兵衛」を発売し、売上を伸ばしました。カップめん類では、夏場に「ICEカップヌードルライト」で新しい食べ方を提案した「カップヌードルライト」群、カップヌードル史上最大の麺重量で食べ応えを追求した「カップヌードルキング」群、三層タストレート製法のもっちりした太くまっすぐな「うどん」が好評の「日清のどん兵衛」群などが好調な販売となりました。売上高全般では、第1四半期の売上高は前年が東日本大震災直後の特別なマーケットに対応した時期であったため前年を下回りましたが、第2四半期以降の売上高は順調に推移しました。特に、第3四半期には、関東甲信越・静岡地域で先行販売した袋めん「日清ラ王」が売上増に大きく寄与しました。このため、同商品の全国販売の準備を速やかに進めております。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比0.8%増の1,495億72百万円となり、セグメント利益は、前年同期比0.9%増の184億13百万円となりました。

②明星食品

「明星 チャルメラ」をはじめとする袋めん類は、競合他社との激しい販売競争に苦戦し、前年を割り込む結果となりました。カップめん類では、「明星 一平ちゃん」「同 夜店の焼そば」シリーズが堅調に推移、また「明星 評判屋」も売上を伸ばしましたが、他商品の落ち込みをカバーするには至らず、売上減となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比6.6%減の292億17百万円となり、セグメント利益は、前年同期比45.9%減の12億6百万円となりました。

③低温事業

日清食品チルド(粥)の販売状況は、チルドならではのおいしさをアピールした「日清のちゃんぽん」や「日清の太麺焼そば」が堅調に推移、また当社グループのロングセラーブランドである「明星 中華三昧」シリーズの新商品を発売し売上拡大を図りましたが、袋めんの躍進による販売減少の影響もあり、売上減となりました。

日清食品冷凍(粥)の販売状況は、「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズが好調に推移、また「冷凍 日清どん兵衛鴨南蛮そば」や「冷凍 日清具多辣椒担々麺」の導入拡大が売上増に大きく貢献しました。さらに、冷凍おにぎり市場への新提案商品「冷凍 日清カプセルスタイル カップヌードルおにぎり」も売上を伸ばしました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比2.2%減の398億99百万円となり、セグメント利益は、前年同期比52.2%減の7億15百万円となりました。

④米州地域

米州地域は、「CHOW MEIN」「BIG CUPNOODLES」等の高付加価値商品が好調に推移、また、価格改定の効果もあり、「Top Ramen」「CUP NOODLES」等のロングセラー商品も堅調な売上となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比3.9%増の188億88百万円となり、セグメント利益は、2億61百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域は、中間所得者層の増加が続く中国での営業販売網拡大とブランド戦略が奏功したことにより、増収増益となりました。中国における反日不買運動の影響は限定的で、「合味道」「開杯楽」等のカップめんや袋めん「出前一丁」が売上を伸ばしました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比11.6%増の156億42百万円となり、セグメント利益は、前年同期比158.3%増の17億53百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比0.3%増の325億47百万円となり、セグメント利益は、前年同期比91.5%減の1億37百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ42億30百万円増加し、4,189億48百万円となりました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ35億7百万円減少し、1,245億52百万円となりました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ77億38百万円増加し、2,943億95百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は68.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に発表しました通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,599	58,325
受取手形及び売掛金	46,490	54,039
有価証券	10,836	2,383
商品及び製品	9,652	8,986
原材料及び貯蔵品	7,854	8,905
その他	9,642	8,617
貸倒引当金	△261	△263
流動資産合計	151,815	140,993
固定資産		
有形固定資産		
土地	47,999	51,890
その他（純額）	78,360	78,289
有形固定資産合計	126,360	130,179
無形固定資産		
のれん	2,648	2,086
その他	1,290	1,302
無形固定資産合計	3,939	3,388
投資その他の資産		
投資有価証券	117,635	122,675
その他	15,305	22,044
貸倒引当金	△338	△333
投資その他の資産合計	132,602	144,386
固定資産合計	262,902	277,954
資産合計	414,717	418,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,876	46,564
短期借入金	1,780	1,633
未払金	20,136	21,357
未払法人税等	6,813	5,436
その他	17,257	14,121
流動負債合計	90,865	89,113
固定負債		
長期借入金	12,860	12,109
退職給付引当金	9,450	8,141
その他	14,883	15,187
固定負債合計	37,194	35,439
負債合計	128,060	124,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	247,138	252,488
自己株式	△21,855	△21,797
株主資本合計	298,821	304,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,385	5,267
土地再評価差額金	△7,275	△6,619
為替換算調整勘定	△15,509	△15,088
その他の包括利益累計額合計	△18,398	△16,441
新株予約権	658	899
少数株主持分	5,575	5,706
純資産合計	286,657	294,395
負債純資産合計	414,717	418,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	285,125	285,768
売上原価	159,843	158,281
売上総利益	125,281	127,486
販売費及び一般管理費	104,459	108,336
営業利益	20,822	19,150
営業外収益		
受取利息	590	572
受取配当金	1,553	1,683
有価証券売却益	—	59
持分法による投資利益	947	1,312
その他	458	978
営業外収益合計	3,550	4,606
営業外費用		
支払利息	173	170
為替差損	654	—
その他	255	120
営業外費用合計	1,082	291
経常利益	23,290	23,465
特別利益		
固定資産売却益	156	346
投資有価証券売却益	—	359
厚生年金基金代行返上益	5,410	—
受取保険金	—	152
その他	0	2
特別利益合計	5,566	860
特別損失		
固定資産売却損	338	33
固定資産廃棄損	160	199
投資有価証券評価損	300	926
災害による損失	—	126
その他	163	—
特別損失合計	963	1,285
税金等調整前四半期純利益	27,894	23,040
法人税等	11,414	8,592
少数株主損益調整前四半期純利益	16,480	14,447
少数株主利益	173	168
四半期純利益	16,306	14,278

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,480	14,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,036	837
土地再評価差額金	421	—
為替換算調整勘定	△2,001	153
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,971	291
その他の包括利益合計	△5,586	1,282
四半期包括利益	10,893	15,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,870	15,580
少数株主に係る四半期包括利益	23	149

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	148,405	31,291	40,781	18,174	14,015	252,667	32,457	285,125	—	285,125
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	265	841	439	—	58	1,605	12,262	13,868	△13,868	—
計	148,671	32,133	41,221	18,174	14,073	254,273	44,720	298,993	△13,868	285,125
セグメント利益 又は損失 (△)	18,249	2,228	1,496	△375	678	22,278	1,612	23,890	△3,068	20,822

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,068百万円には、退職給付関係費用△299百万円、のれんの償却額△562百万円、セグメント間取引消去等7百万円、グループ関連費用△2,213百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	149,572	29,217	39,899	18,888	15,642	253,220	32,547	285,768	—	285,768
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	134	913	417	—	66	1,531	12,049	13,581	△13,581	—
計	149,706	30,131	40,317	18,888	15,708	254,752	44,596	299,349	△13,581	285,768
セグメント利益	18,413	1,206	715	261	1,753	22,348	137	22,486	△3,335	19,150

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,335百万円には、退職給付関係費用△546百万円、のれんの償却額△562百万円、セグメント間取引消去等57百万円、グループ関連費用△2,284百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から社内の業績管理区分を一部変更し、従来日清食品セグメントにて負担していたグループ関連費用を調整額に配分しております。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、「日清食品」のセグメント利益が2,284百万円増加し、「調整額」のセグメント利益が2,284百万円減少しております。

なお、前第3四半期連結累計期間については、当年度のセグメント利益の測定方法に基づき遡及して作成した数値となっております。